

令和7年度新座市幼保小連携推進事業

交流実践報告集

つなげよう 家庭の力を学校へ

テーマ「幼児期から児童期における連続した指導・支援のあり方」

- 重点目標
- ①年間を見通した計画的な交流活動の実施
(意図的に設定した内容による複数回の交流)
 - ②共通理解・共通行動(相互訪問、職員交流)
 - ③引継ぎの充実(小学校への引継ぎの仕方)
 - ④「保護者への啓発」(リーフレットの活用等)



新座市教育委員会



あいさつ

新座市教育委員会教育長

金子 廣 志

幼児教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものであり、全ての子供が家庭や地域の状況に関わらず、質の高い学びを公平に享受でき、その後の学びへとスムーズに接続できるようにすることが求められています。特に、幼児期および幼保小接続期における教育の充実が重要であり、幼稚園教育要領総則および小学校学習指導要領総則にも明記されているとおり、子どもの豊かな学びを実現するためには、幼児期に育んだ資質・能力を基礎として、小学校以降において「主体的、対話的で深い学び」を継続していくことが必要です。

このような中、各園、各学校におかれましては、日頃から連携の重要性を深く御理解いただき、心から感謝申し上げます。本市で進めているブロック別交流研修会をはじめ、園児・児童の交流活動の推進、そして相互訪問や職員交流を通じたアプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの作成・共有など、現場の皆様の取組によって、幼保小の連携が確実に深まっていることを実感しております。現在、文部科学省では「幼児教育スタートプラン」のもと、施設類型を問わず全ての子供に対して格差なく質の高い学びを保障する取組を進めています。特に令和7年度からは、これまでモデル地域で検証されてきた「幼保小の架け橋プログラム」が、いよいよ全国規模での本格的な推進フェーズに入りました。各自治体において、架け橋期のコーディネーターの活用や、5歳児から小学校1年生までの2年間を見通した架け橋期カリキュラムの策定などが強力に推し進められています。

本市におきましても、今年度の様々な実践や課題を真摯に受け止め、行事を通じた交流にとどまらず、日常的な情報共有や互いの教育・保育への理解をさらに深めていくことが重要です。市内の幼稚園・保育園・認定こども園・小学校が「子どもの持続可能な学び」という共通の目標に向かって、一層確かな協働体制を築いていけるよう支援してまいります。

最後になりましたが、本冊子の作成にあたり、各幼稚園長、各保育園長、各小学校長をはじめ多くの関係者の皆様に多大なる御協力をいただきましたことに、心より深く感謝申し上げます、あいさつといたします。

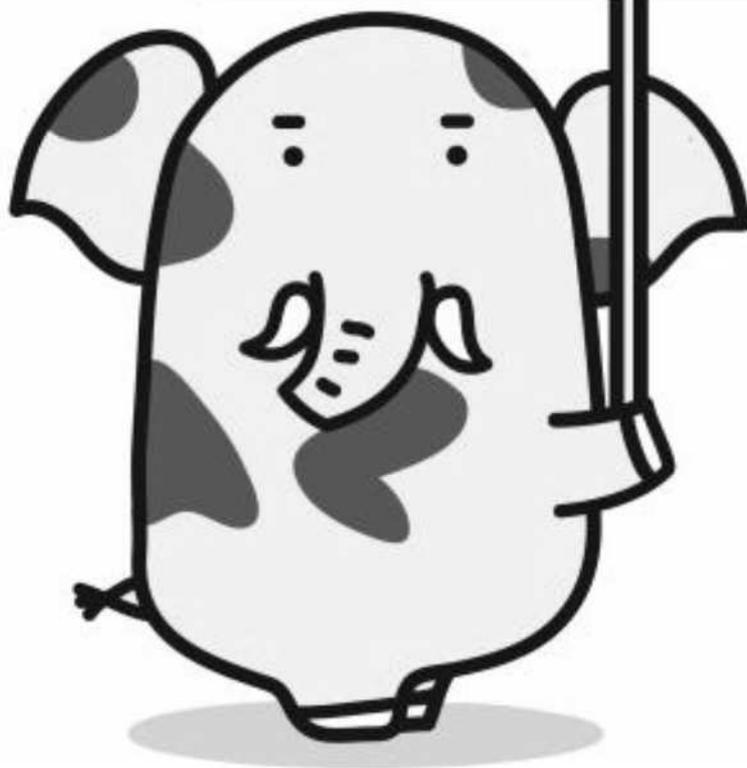
目 次

1	新座市教育委員会教育長あいさつ	・・・	1
2	令和7年度新座市幼保小連携推進事業 年間活動概要	・・・	3
3	令和7年度新座市幼保小連携推進事業 成果と課題	・・・	6
4	新座市幼保小連携推進協議会開催要綱	・・・	8
5	令和7年度新座市幼保小連携推進協議会役員名簿	・・・	10
6	令和7年度交流研修会（ブロック別研修会） ＜小学校、幼稚園、保育園の組み合わせ＞	・・・	11
7	令和7年度新座市幼保小連携推進事業 交流実践報告 （各ブロックからの令和7年度新座市幼保小連携推進事業報告書）	・・・	12



年間活動概要

つなげよう 家庭の力を 学校へ



令和7年度の推進事業計画

テーマ 「幼児期から児童期における連続した指導・支援のあり方」

重点目標

- ①年間を見通した計画的な交流活動の実施
 - ・意図的に設定した内容による複数回の交流
 - ・児童数、園児数等、実態に応じた交流の仕方の工夫
 - ・小学校教育課程全体においての、計画的な交流の実施(教科、学年の検討)
- ②共通理解・共通行動
 - ・スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムの共有と活用
 - ・小学校、園の施設や生活の様子の見学
 - ・学校だより、園だより等の共有と活用
- ③引き継ぎの充実
 - ・入学のしおりを園に送る。
 - ・計画的な情報交換会の実施
- ④「保護者への啓発」
 - ・リーフレットの活用等

交流実施期間 令和7年7月～令和8年1月

令和7年度 年間計画

<p><役員会> 令和7年6月26日(木) 午後3時30分～ 参集会議</p> <p><全体会> 令和7年7月3日(水) 午後3時30分～ Google meetを活用した オンライン会議</p>	<p>新座市幼保小連携推進協議会役員会 新役員を選出、昨年度のふりかえり、 本年度のテーマ、年間計画の作成</p> <hr/> <p>新座市幼保小連携推進協議会 第1回全体会 参加者:保育園長・幼稚園長・小学校長 (関係職員各園1名・各学校2名)</p> <p>(1) 役員紹介 (2) 今年度の研修テーマ (3) 研修内容 ・ブロック別交流計画 ・情報交換など</p>
<p>令和7年7月 ～令和8年1月</p>	<p>幼保小の連携にかかるブロック別交流研修会 ※1月までに終了し、2月事業報告書提出。 第2回全体会でブロックの成果と課題を協議する。</p>

令和8年2月18日(水) 午後3時30分～ 会場:オンライン会議	新座市幼保小連携推進協議会 第2回全体会 参加者:保育園長・幼稚園長・小学校長 (関係職員各園1名・各学校2名) (1) 実践報告 ※別紙参照 (2) 今年度の成果と課題 (3) 情報交換など
--	---

【学校公開日】 *小学校(運動会)

令和7年10月25日(土)

新座市幼保小連携推進協議会第2回全体会での実践報告会について

1 報告者 各小学校ブロック代表者

2 報告者割当表(R5～3か4ブロック毎)

ブロック名	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
大和田小学校			※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため 実施なし	※実施なし	※新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザの同時流行を懸念し書面開催のため実施なし	○					
西堀小学校						○					
片山小学校						○					
第四小学校									○		
八石小学校									○		
東北小学校									○		
野火止小学校	○									○	
野寺小学校	○									○	
池田小学校	○									○	
新堀小学校	○										○
東野小学校	○										○
栄小学校	○										○
石神小学校		○									○
新開小学校		○									
栗原小学校		○									
陣屋小学校		○									
新座小学校		○									

3 報告内容

(1) 今年度における取組(各ブロック5～10分 質疑応答含む)

- ・重点目標の何に力を入れて取り組み、どのような成果があったか。
- ・他のブロックに紹介したい取組
- ・今年度の課題となっていること
- ・指導要録、保育要録の活用と引継ぎ内容等

(2) 発表資料は、各ブロックで用意する。

※実践報告会で提示する発表資料は、事務局に1週間前までに提出。

4 その他

「新座市幼保小連携推進協議会第1回全体会」で打ち合せを行う。

令和7年度 新座市幼保小連携推進事業 成果と課題

【令和7年度 研修テーマ】

テーマ 「幼児期から児童期における連続した指導・支援のあり方」

重点目標

- ①年間を見通した計画的な交流活動の実施
 - ・意図的に設定した内容による複数回の交流
 - ・児童数、園児数等、実態に応じた交流の仕方の工夫
 - ・小学校教育課程全体においての、計画的な交流の実施(教科、学年の検討)
- ②共通理解・共通行動
 - ・スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムの共有と活用
 - ・小学校、園の施設や生活の様子の見学
 - ・学校だより、園だより等の共有と活用
- ③引き継ぎの充実
 - ・入学のしおりを園に送る。
 - ・計画的な情報交換会の実施
- ④「保護者への啓発」
 - ・リーフレットの活用等

1 実践内容（丸数字は重点目標）

①年間を見通した計画的な交流活動の実施について

- ・幼保小交流会
小学校の教室での授業体験（プリントでの運筆練習やタブレット端末の「ロイロノート」を使用したお絵かきなど）や、ランドセル・校帽の着用体験
- ・学校探検・施設見学
- ・児童が企画した遊びの体験（「あきのおもちゃランド」や「あきまつり」として、1年生が生活科で作った秋の自然物（どんぐりや松ぼっくりのけん玉など）を使ったお店を開いた。）

②共通理解・共通行動について

- ・相互見学・授業参観の実施
- ・小学校の学年便りや学校便りを園に送付
- ・指導方針の共有：連絡会を通じて、幼稚園・保育園におけるこれまでの関わり方と、小学校における指導方針を互いに伝え合い、共通理解を図った。

③引き継ぎの充実について

- ・情報交換会の充実
- ・就学への意識づけと不安解消(1年生が学校生活を紹介する写真やコメント付きの掲示物を作成して園に寄贈)
- ・アプローチプログラムとスタートプログラムを参照し、「架け橋プログラム」の作成を検討

④「保護者への啓発」

- ・保護者向け授業参観の実施
- ・「3つのめばえ」「5歳児保護者向けリーフレット」等の配布と活用

2 成果と課題

○成果

- ・園児とかかわることで、2年生になるという自覚や園児を思いやる気持ち、責任感を持って行動する大切さに気付かせることができた。
- ・「スタートカリキュラム」を渡すことができ、意識の共有が図ることができた。
- ・職員間で連絡をとることにより、異校種の職員の交流にもつながった。
- ・生活科の学習をめあてをもって意欲的に取り組ませることができた。

●課題

- ・交流時期とインフルエンザ等の感染症が流行する時期が重なってしまうこと。
- ・異校種間の理解をより深める必要がある。
- ・アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムについて、幼保小の連携について、教員・保育士がお互いに園児・児童の活動の様子を参観し、連携に必要なことを確認するための時間の確保する必要がある。
- ・交流回数、交流場所、見学箇所等について計画的に行うこと。

【来年度に向けて】

◆交流活動のさらなる充実

- ・日程や時間の柔軟な設定とゆとりの確保
- ・継続的で多様な交流機会の創出
- ・実態に合わせた内容と安全・安心への配慮
- ・園児の視点に立った工夫

◆共通理解・共通行動

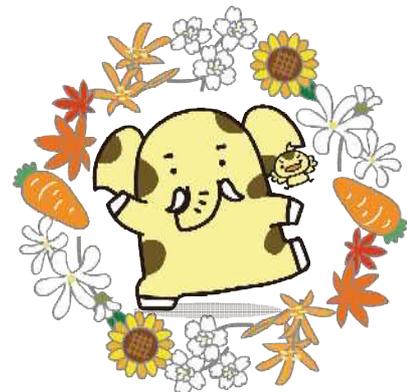
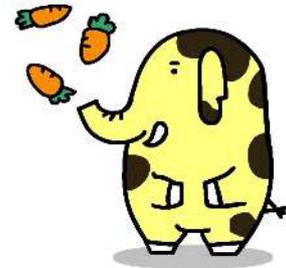
- ・相互参観のさらなる推進
- ・架け橋プログラムの作成検討
- ・日常的な親近感の醸成

◆引き継ぎの充実

- ・情報交換会や教員間交流の質的向上
- ・配慮を要する園児への対応
- ・具体的な生活習慣の引き継ぎ

◆その他

- ・保護者への啓発・参加機会の提供
- ・交流ルールの事前徹底
- ・児童の役割の明確化



新座市幼保小連携推進協議会開催要綱

(平成17年8月2日教育長決裁)

(趣旨)

第1条 子どもたちの健やかな成長を目指して、幼稚園、保育園、小学校及び教育委員会が協力し、相互交流を通して理解を深め、幼児教育と児童教育の緊密な連携を図るため、意見又は助言を求める新座市幼保小連携推進協議会（以下「協議会」という。）を開催することに関し必要な事項を定めるものとする。

(意見を求める事項)

第2条 協議会において意見又は助言を求める事項は、次のとおりとする。

(1) 小学校、幼稚園及び保育園間の交流・連携に関すること。

(2) 小学校教諭、幼稚園教諭及び保育士間の交流・連携に関すること。

(3) 小学校教諭、幼稚園教諭及び保育士の資質向上を図る研修会の実施に関すること。

(4) 就学前の保護者向け資料等の作成及び提供に関すること。

(5) 前各号に掲げるもののほか、協議会の運営に必要な事項に関すること。

(参加者)

第3条 教育長は、別表に定める者のうちから、協議会への参加を求めるものとする。

2 前項の場合において、教育長は、原則として、同一の者に継続して協議会への参加を求めるものとする。

(運営)

第4条 協議会の参加者の中から互選により会議を進行するための座長を定めるものとする。

2 教育長は、必要があると認めるときは、協議会に関係者の出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は資料を求めることができる。

(開催期間)

第5条 協議会の開催期間は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、学校教育部教育支援課において処理する。

(施行の細目)

第7条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この要綱は、平成17年8月2日から実施する。

附 則

この要綱は、平成19年4月19日から実施する。

附 則

この要綱は、平成21年4月30日から実施する。

附 則

この要綱は、平成23年5月18日から実施する。

附 則

この要綱は、平成25年5月7日から実施する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成30年1月1日から実施する。

別表

新座市幼保小連携推進協議会参加者

1	公立小学校 校長
2	私立幼稚園 園長
3	公立及び法人等保育園 園長
4	こども未来部保育課長
5	学校教育部長

令和7年度 新座市幼保小連携推進協議会役員名簿

	学校名	役 職	名 前
座長	野火止小学校	校 長	丹代 円
	十文字女子大附属幼稚園	園 長	竹迫 久美子
	大和田しらかば幼稚園	園 長	藤巻 和司
	かたやま幼稚園	園 長	志賀 聡
	第一新座幼稚園	園 長	竹内 玲央
	第一保育園	園 長	西岡 志保子
	けやきの森保育園栗原園	園 長	齋藤 祐也
	こども未来部	保育課長	遠藤 達雄
	教育委員会学校教育部	部 長	近藤 章宏

事務局	教育委員会学校教育部	副部長兼教育支援課長	山崎 孝雄
	教育委員会学校教育部	教育支援課副課長	宇賀田 恵亮
	教育委員会学校教育部	教育支援課指導主事	大下 将孝

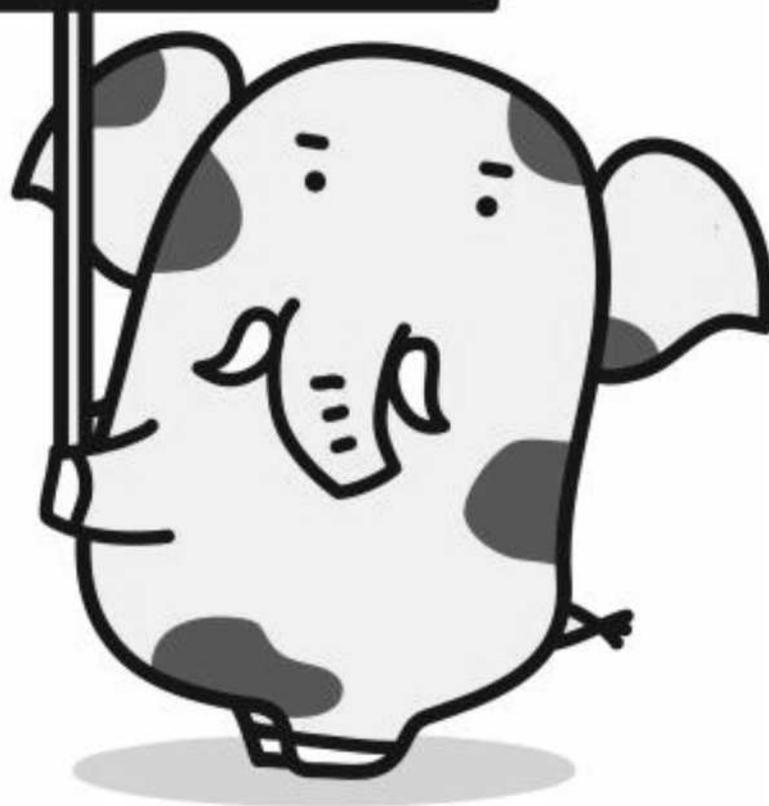
令和7年度交流ブロック

＜小学校、幼稚園、保育園の組み合わせ＞

ブロック番号	学校名	幼稚園	保育園
1	大和田小学校	なみきの幼稚園	ふえありーている保育園 みどりの丘の保育園 音羽の森保育園
2	西堀小学校		西堀保育園
3	片山小学校	美鈴幼稚園	みき保育園
4	第四小学校		まきば第二保育園 妙音沢もみじ保育園 新座どろんこ保育園
5	八石小学校	片山幼稚園	横田保育園
6	東北小学校	かきの木幼稚園	北野の森保育園
7	野火止小学校	十文字女子大附属幼稚園	すこやか保育園 野火止保育園
8	野寺小学校	片山幼稚園	第二保育園 栗原保育園 元気キッズ新座栗原園
9	池田小学校		栄保育園 元気キッズ新座池田園
10	新堀小学校	こぼとの森幼稚園	光保育園 新堀保育園
11	東野小学校	わか のび 幼稚園	第一保育園 すぎのこ保育園 まなびぐら新座保育園
12	栄小学校		竹の子保育園 妙音沢もみじ保育園
13	石神小学校		まきば保育園 アヤ保育園 光第二保育園 まこと保育園 かりやなかよし保育園
14	新開小学校	第一新座幼稚園 大和田しらかば幼稚園	北野保育園
15	栗原小学校	明彩幼稚園	けやきの森保育園栗原園 けやきの森保育園栗原第二 はなにこマロン保育園
16	陣屋小学校		白梅保育園、 白梅第二保育園 キッド・ｽﾀｲ新座保育園
17	新座小学校	第二新座幼稚園	新座保育園 山びこ保育園

令和7年度幼保小連携推進事業

交流実践報告



<第1ブロック>

新座市立大和田小学校

なみきの幼稚園

みどりの丘の保育園

ふえありーている保育園

音羽の森新座保育園

1 活動名

- (1) 相互訪問、職員交流
- (2) なかよし集会
- (3) 保護者への啓発

2 活動内容

(1) 相互訪問、職員交流

- ・学年便り、園便りの共有

毎月お便りを渡して情報を共有した。昨年度からメールで送付することとなったため、学校便りも併せて送付し、より多くの情報を共有することができた。

- ・保育見学 夏季休業中

各園のそれぞれの活動の様子を見学した。延期になった夏祭りを開催していた園では、年長組が下級生に縁日の遊びを丁寧に教える様子を見ることができた。交流を深めながら、楽しく活動していた。

給食の様子を見学した園では、園と小学校の配膳の方法について伝え合った。それぞれの園で配膳方法が違うことが分かった。

遊びの時間の様子を見学した園では、一つに限定することなく、園児が興味をもったことに対し、場を与えて活動させていた。例えば、プール、体操など自分たちでやりたいことを選んで取り組んでいる様子を知ることができた。

活動を見学した後、各園と卒園した児童やこれから入学する予定の児童の情報共有をした。

(2) なかよし集会

- ・12月1日(月)に予定をしていたが、小学校内でインフルエンザが流行し、学級閉鎖となってしまったため、延期した。(2月実施予定)
今回は、予定していた内容について報告する。

- ・場所 大和田小学校 体育館 1学年各教室など

- ・交流内容

① 始めの会

1年生が司会を務めて会の説明をする。幼保小連携事業の打ち合わせで、一緒に歌をうたいたいという提案があったため、「にじ」を1年生、園児含め全員でうたうことを決めた。1年生は音楽会に向けて「にじ」を練習し、各園にも「にじ」の歌詞カードを送り準備を進めた。

歌をうたった後は、1年生と園児でペアを作り、挨拶や自己紹介をして手をつなぎながら移動する。

② 学校探検

ペアで手をつないで階段を上って校内の特別教室（音楽室、図書室）などを回り、学校探検をする。高学年が授業を受けている様子を見る機会も設ける。

③ 各教室で交流

1年生の教室で席に座り、話の聞き方や鉛筆の持ち方などの学習体験をする。今回は、各園からの希望もあり、タブレットを使ってなぞりプリントの練習をするという活動を新たに設けた。学習体験後、ランドセルや校帽を身に付けて、小学生気分を味わわせる。普段行っている掃除や給食の準備の様子などを動画に撮影し、園児達に見せ、小学校の生活の見通しをもたせる。

④ 終わりの会

各クラスで終わりの会を行う。司会が感想を伝えたり、ペアを組んだ子との交流を深めたりする。

⑤ その他

なかよし集会当日を迎えるに当たって、なかよし集会でどんなことを教えてあげたいか話し合った。司会を決め、どのように話しかければよいか、どんなことをしてあげたら喜んでくれるか自分たちで考えさせた。延期になったことで、時間をかけて準備ができたので、会の流れの確認やリハーサルなどを各クラスで取り組む予定である。

(3) 保護者への啓発

入学のしおりを送り、入学準備について園と共有し、活用していただく。

3 交流の成果と課題

○成果

- ・夏季休業中の保育見学では、園の給食の配膳方法や夏祭りの様子などを見学し、普段できない体験をさせていただいた。
- ・それぞれの園で配膳方法が違うので、小学校の方法を伝えることができた。
- ・なかよし集会の準備ではそれぞれの児童が責任感をもって取り組んでいた。特に司会を担当した児童は、家庭や休み時間など、時間を見つけたら各自で練習をし、その姿を他の児童も見ることで意識を高めて準備を進めることができた。
- ・なかよし集会ではどんな活動を希望しているかを確認することができた。給食、掃除の様子を知りたいという希望があったため、児童の活動している動画を撮影し、なかよし集会で映像を見ていただく予定である。（資料1）また1年生の成長した様子を伝えることができた。

○課題

- ・インフルエンザで学級閉鎖になり、なかよし集会が延期になってしまった。

資料1



給食の準備



掃除

新座市立西堀小学校
西堀保育園

1 活動名

- (1) 西堀小ブロック幼・保・小連絡会
- (2) 園児の学校見学

2 活動内容

- (1) 西堀小ブロック幼・保・小連絡会

○交流会の内容検討

- ・交流会で行う活動内容について検討した。
- ・次年度入学に向けて園児の様子や小学校の様子などを交流した。

○次年度以降についての計画立案

- ・年間指導計画をすりあわせ、生活科で連携をとっていけるように、次年度以降調整可能であることなど確認した。
- ・運動会での内容について、幼保でどの程度のものを実施していたのか実態を把握するとともに、1年生での内容について見直しを図った。

- (2) 園児の学校見学

○西堀小学校でなかよし会の実施

- ・西堀保育園5歳クラスの園児を招いてなかよし会を実施した。

①はじめの会・・・体育館

児童が司会を務め運営した。
マイクを使用したことで、声を出すのに自信がなかった児童でも、円滑に進行することができた。



はじめの会

②1年生による発表・・・体育館

運動会の表現を発表した。
できるだけ広く見せるために、ステージを前面にせず、校庭側と畑側にわかれて、対面できるように場を工夫した。



発表

③西堀小の学校案内・・・校内グループごとに、西堀小学校の校内をまわりながら、どんな教室があり何をするとところなのか案内をした。



ランドセル体験

④ランドセル体験・・・学級各学級内でグループごとにランドセルを背負う体験をさせた。

⑤授業体験・・・学級西堀小1年生担任から話をした。

⑥鬼ごっこ・・・校庭園児、児童で鬼ごっこをした。校庭の広さを体験させることができた。



鬼ごっこ

⑦おわりの会・・・体育館児童が司会を務め運営した。園児による感想発表を行った。

3 交流の成果と課題

○成果

- ・西堀小学校内で交流会を行ったことで、園児の小学校への期待と意識を高めることができた。
- ・園児に教える中で、1年生児童の協調性を高めることができた。
- ・入学に先立ち、園児の様子を知ることができた。

○課題

- ・時間や日程、園児児童への配慮をしながら、授業見学や小学校児童の園での活動など、交流の機会を増やしていけると良い。
- ・園児（5歳クラス）の数と1年生児童の数に大きな違いがあるので、体験活動を2回に分け学級ごとの発表にするなど、数的バランスを考慮できると良い。
- ・配慮が必要な園児について、入学前に園での様子を実際に見られる時間が設定できると良い。

<第3ブロック>

新座市立片山小学校 みき保育園 美鈴幼稚園

1 活動名 幼保小交流会

2 活動内容

日時：令和7年10月30日（木）10時20分～12時45分

美鈴幼稚園（76名）

令和7年11月18日（火）10時20分～12時45分

みき保育園（13名）

場所：片山小学校1年生の教室、体育館、校内



内容：

① 授業の体験（国語）



教室で実際に机や椅子に座って授業を体験してもらった。1年生の教科書の紹介をし、「くじらぐも」の音読を聞かせた。そのあと簡単ななぞり書きの体験をしてもらった。1年生は園児に学校での学習の仕方を優しく教えてあげたり、園児の様子に合わせて声掛けをしたり、温かい雰囲気の中で授業の体験を行っていた。

教室で実際に机や椅子に座って授業を体験してもらった。1年生の教科書の紹介をし、「くじらぐも」の音読を聞かせた。そのあと簡単ななぞり書きの体験をしてもらった。1年生は園児に学校での学習の仕方を優しく教えてあげたり、園児の様子に合わせて声掛けをしたり、温かい雰囲気の中で授業の体験を行っていた。



② ランドセル体験

国語、算数などの教科書や筆箱などの学習道具を入れた状態でランドセルを背負ってもらった。帽子をかぶり、1年生になった気持ちを体験し、嬉しそうに、教室内を歩いていた。1年生は、優しく背負う手伝いをしていた。



また、1年生が昇降口から教室までランドセルを背負って登校する様子を動画に取り、園児に見てもらうことで、実際の朝の雰囲気を伝えた。

③ タブレット体験

実際にタブレットに触れて動かしてみる活動をした。ロイロノートを使って、ペアの児童が教えながらお絵描きを行った。



④ メダルの作成、プレゼント

片山小学校キャラクター「かたちち」「コスリン」「みらい長老」に色を塗り、裏面にメッセージを書き、交流の最後になんぼったプレゼントとして一人ひとりに渡した。1年生の児童は、来年度、下の学年が来ることを理解し、自身の成長を感じることができた。

⑤ 給食体験



交流会の最後に、給食を食べてもらう体験も実施した。準備や配膳、片付けなどは1年生が行った。美鈴幼稚園との交流会では、76名と大人数のため、校外学習の学年がある日に交流会を計画した。当日は、校外学習に行っている3年生の教室を借りて、園児たちには実際に給食を食べる体験をしてもらった。片山小学校のキャラクターの描かれた、ランチョンマットを利用した。

3 交流の成果と課題

○成果

- ・小学校の中ではお世話をされることの多い1年生だが、交流会に向けて、たくさんお世話をしてあげたい気持ちを高め、当日は、優しく、丁寧に接していた。
- ・園児と関わる中で、色々とお世話してあげようという意識が芽生え、4月から自分が2年生になるという気持ちが高まった。
- ・今回の活動を通して、児童も教師も入学からの成長を感じることができた。
- ・学校の中を見回れたことで、園児は小学校がどんなところか分かり不安が減った。

○課題

- ・給食交流は、小学校の校外学習の日程によるので、日程調整が難しかった。
- ・園児の人数が少ない場合の児童の役割が満足感の高い内容にならなかった。

令和7年度 新座市幼保小連携事業報告

〈第4ブロック〉

新座市立第四小学校

まきば第二保育園 妙音沢もみじ保育園 新座どろんこ保育園

1 活動名

- (1) 第四小ブロック幼・保・小連絡会
- (2) 幼稚園児童と小学校児童の交流会

2 活動内容

- (1) 第四小ブロック幼・保・小連絡会

第四小職員と、保育園職員が第四小学校に集まり、児童の保育園での過去の様子や、小学校での実態について情報交換を行った。

- ・幼稚園在籍時の様子や職員の取組について
- ・児童の小学校での様子や取組について
- ・保護者の情報とこれまでの関り方について
- ・幼稚園、小学校それぞれの児童に対しての指導方針について

- (2) 幼稚園児童と小学校児童の交流会

○体育館で始めの会とゲームによる交流活動

- ・ペアの子への自己紹介
- ・ゲーム（音楽に合わせて動く、もうじゅうがりへ行こうよ）

○教室で、園児の小学校体験

- ・運筆体験
- ・ランドセル体験
- ・1年生による学校クイズ
- ・クロムブックでお絵描き体験
- ・1年生からの折り紙のプレゼント

○終わりの会

- ・互いの感謝の気持ちの伝え合い
- ・1年生によるアーチで園児を見送り



3 交流の成果と課題

(1) 小学校

○成果

- ・児童について情報交換を行い、在園時の様子や保育園との保護者のやりとりを知ることができた。
- ・小学校の指導方針と保育園の指導方針を伝え合い、今後の児童の指導の参考にすることができた。
- ・小学校での実態を伝えることにより、児童の理解を深めることができた。
- ・児童が主体として交流会を行うことにより、園児を招待した達成感を得させることができた。
- ・交流会に向けての準備活動を行うことにより、2年生になることへの自覚をもつことができた。

○課題

- ・小学校、幼稚園それぞれの行事等により、情報交換会や交流会の日程を設定するのが難しかった。
- ・情報交換会について、お互いに知りたい児童の情報が曖昧であったため、テーマを設けて話し合った方がよかった。
- ・一部の児童が中心となり活動を行ったが、積極的に取り組むことができない児童がいた。

(2) 保育園

○成果

- ・卒園児の小学校での様子を知ることができ、園での指導の参考になった。
- ・体育館でゲームを行ってから教室に行くことにより、園児が緊張せずに活動することができた。
- ・3つの教室に分かれて1クラスずつ体験を行ったため、園児が落ち着いて活動することができた。

○課題

- ・特になし

令和7年度 新座市幼保小連携推進事業報告

〈第5ブロック〉

新座市立八石小学校

片山幼稚園 横田保育園

1 活動名

- (1) 八石市（はちこくいち）への招待
- (2) 来年度入学児童（長子）の保護者授業参観
- (3) 小学生と園児の交流会
- (4) 小学校教員による園への訪問・見学
- (5) 園児の学校見学

2 活動内容

- (1) 八石市への招待（会場 八石小学校）

○6月6日

児童たちが考えたグループごとの遊びを、園児が体験



写真は、「一筆書き」のお店にチャレンジしている様子。他にも、様々なお店にきて、遊びを体験した。

- (2) 来年度入学児童（長子）の保護者授業参観（会場 八石小学校1年生教室）

○11月12日 2校時 1組：国語 2組：算数

- (3) 小学生と園児の交流会（会場 八石小学校体育館）

○12月10日 片山幼稚園・横田保育園との交流会

- ① はじめの会
- ② 小学生によるワークショップ
机・お道具箱体験コーナー、名札づくり、算数パズル、
ランドセル体験、メダルづくり、ボール転がし・蹴り・投げ体験
- ③ おわりの会



はじめとおわりの会では、児童が司会を担当。児童が先導して、6つのワークショップを回った。



初めてボール転がし・蹴り・投げ体験を設置。ボールを使って一年生と一緒に体験した。

(4) 園児の学校見学 (会場 八石小学校)

○1月28日

① はじめの会

② 校舎見学 (それぞれの場所で小学生による説明つき)

靴箱、1年生の教室、給食室、トイレ、保健室、職員室、校長室、図書室、教室、図工室、英会話ルーム、音楽室

③ おわりの会



児童が各教室の様子や、授業の様子を紹介。



児童が紹介した後、園児からの質問にも対応。

(5) 小学校教員による園への訪問・見学 (会場 片山幼稚園、横田保育園)

○2月5日と2月12日の2日間にわたり、小学校教員4名が幼稚園、保育園を訪問予定

3 成果と課題

○交流を重ねたことで、園児が楽しみで前向きな気持ちをもって参加できた。

○一年生が園児を案内したり教えたりする姿を見て、一年生の成長を感じるとともに、園児の入学への期待感を持たせることができた。

△学校探検で、1つのグループのみ時間がだいぶ超えてしまった。

→次年度、再度内容を検討するとともに、タイマーを持たせる等、1年生の役割を追加する。

第6ブロック 新座市立東北小学校
かきの木幼稚園
北野の森保育園

1 活動名 幼保小交流会

2 活動内容

(1) 幼稚園・保育園見学

日 時：8月21日（木）かきの木幼稚園の見学（本校教員2名）
12月3日（水）北野の森保育園見学（本校教員3名）

内 容：小学校教員が幼稚園・保育園を訪問し、園児の活動や園の施設を見学する。

(2) 小学校見学

日 時：11月26日（水）かきの木幼稚園（教諭2名）
12月8日（月）北野の森保育園（保育士2名）

内 容：保育士・幼稚園教員が小学校を訪問し、学習の様子を見学し疑問に思ったこと等を話し合う。

(3) 幼保小交流会

日 時：11月20日（木）

場 所：東北小学校1年の教室、校内

交流学年：東北小学校1年生（111名）

かきの木幼稚園（40名）

北野の森保育園（20名）

内 容：①全体会（顔合わせ・先生の話・校歌披露）

②1年生と園児の交流

（ランドセル体験、1年生と園児でレクリエーション）

③教員による校内案内

(4) 幼保小情報交換会

日時：1月15日（木）

場所：東北小学校家庭科室

内容：年長担任と1年担任で情報交換を行う。来年度入学までに指導をしておいてほしいこと、小学校に対しての質問、来年度入学予定の子供の実態についてを話し合った。

3 活動の成果と課題

(1) 小学校

① 成果

- ・幼保小交流会では、園児と関わることで、お兄さんお姉さんとしての自覚をもって活動することができた。
- ・「園児が安心して入学するために、なにができるか」という視点で、各クラスでの準備を意欲的に頑張っていた。
- ・来年度の児童に対しての教員の準備が整う。
- ・幼稚園や保育園でやっていることがわかり、大きな差がないことがわかった。
- ・直接交流会の反省会を行ったため来年度への準備にもなった。

② 課題

- ・幼保小交流会では活動が小学校中心となっていたため保育園や幼稚園からも出し物等があってもいいのではないか。
- ・やりたいことはたくさんあるが日程調整が大変である。学年内で担当をわけておこなってもよいかもかもしれない。

(2) 幼稚園・保育園

① 成果

- ・交流会で、実際に重さのあるランドセルを背負うことで小学校に向けてのイメージが膨らんだ。
- ・レクリエーションがあったため、楽しく交流することができ来年への不安が少し解消された。
- ・帰りのバスでも子供たちが感想を話し合っていたほど良い会になった。

② 課題

- ・模擬授業のような体験があったらより小学校に向けてのイメージが膨らんだのではないか。
 - ・レクリエーションの時間をはじめの会等にいれるのはどうか。
- ⇒その方が緊張がほどけてよりよい体験活動になる。

令和7年度 新座市幼保小連携推進事業報告

第7ブロック 新座市立野火止小学校
十文字学園女子大附属幼稚園
すこやか保育園
野火止保育園

1 活動名

- (1) 幼稚園・保育園職員による授業参観
- (2) 小学校職員による幼稚園・保育園の見学
- (3) 幼保小交流会①「あきのおもちゃランド」
- (4) 幼保小交流会②「1年生体験・学校案内」

2 活動内容

- (1) 幼稚園・保育園職員による授業参観

日 時：7月8日（月）5時間目

内 容：1学期末の授業参観週間に合わせて、幼稚園・保育園職員が小学校を訪問し、小学校の授業を参観する。

- (2) 小学校職員による幼稚園・保育園の見学

日 時：8月25日（月）10時半～11時半

内 容：小学校職員が幼稚園・保育園を訪問し、園での様子を見学する。また、園での取り組みについて交流する。

- (3) 幼保小交流会①「あきのおもちゃランド」

日 時：11月19日（水）3時間目

場 所：野火止小学校体育館

交流学年：野火止小学校1年生

十文字学園女子大附属幼稚園年長組

すこやか保育園年長組

野火止保育園年長組

内 容：①はじめの会

②1年生が作った秋のおもちゃを園児に遊んでもらう。

③終わりの会



(4) 幼保小交流会②「1年生体験・学校案内」(予定)

日 時：2月16日(月) 3時間目

場 所：野火止小学校1年生の教室、校内

交流学年：野火止小学校1年生

十文字学園女子大附属幼稚園年長組

すこやか保育園年長組

野火止保育園年長組

内 容：①学校案内

②1年生体験(ランドセルを背負う、線や字を書く)

3 交流の成果と課題

(1) 小学校

○成果

- ・幼保小交流会では、園児と関わることで、お兄さんお姉さんとしての自覚をもって活動することができた。
- ・園児を楽しませたいという気持ちが強く、準備の段階から意欲的に活動することができた。
- ・幼稚園・保育園の職員による授業参観の日程を授業参観週間と広げたことで、1年生だけでなく、特別支援学級の様子も観てもらうことができた。
- ・今年度は小学校職員が幼稚園・保育園の見学に行くことができ、入学前にどのような経験をしているのかがよくわかった。

●課題

- ・幼保小交流会①では、1年生が作ったおもちゃで遊んでもらうことを想定していたが、一部の児童が一部の園児だけに作ったおもちゃをあげてしまった。年長さん全員にあげられない場合は、あげないということで確認が必要だった。

(2) 幼稚園・保育園

○成果

- ・1年生が優しく声をかけてくれたことで園児の緊張が和らぎ、みんなが楽しめた。
- ・交流の第1歩として「一緒に遊ぶ」ということは園児にとってよかった。1年生の制作を見て子供たちの発想が広がった。
- ・遊びの中で自然と1年生と触れ合うことができ、「楽しかった」「優しかった」と子供たちの次の交流会への期待が高まっている。

●課題

- ・「あきのおもちゃランド」で手作りの看板があったが、ひらがなを読めない園児もいるので、初めの会で簡単なお店の紹介をしてほしかった。
- ・おもちゃをもらった子がいた。もらっていいのか、いけないのか、1年生によって言うことが違い、判断に困った。

<第8ブロック>

新座市立野寺小学校

片山幼稚園 第二保育園 栗原保育園 元気キッズ新座栗原園

1 活動名

- (1) 「たのしい あきの おもちゃかい」(幼保小全体交流)
- (2) 『のでら小へようこそ』のかい(学校生活の紹介)
- (3) 「学校のことを新しい一年生に知らせよう」(掲示物作成)

2 活動内容

(1) 「たのしい あきの おもちゃかい」

- ・目的：4園から集まる107名の園児が、小学校を会場に交流し、楽しみながら親睦を深める。
- ・期日：11月(インフルエンザ流行のため中止)
- ・児童の活動：生活科「たのしいあきいっぱい」の学習と関連付け、秋の自然物を使った遊びをグループで考案し、お店として園児に提供する計画を立てた。(中止に伴い、児童同士で店役と客役に分かれて遊ぶ校内活動に変更)
- ・園児の活動：他者との関係性を育むため、相手の目を見て話を聞く、元気にあいさつをする、他園の園児と協力して遊ぶなどの経験を積む。



(2) 『のでら小へようこそ』のかい

- ・目的：小学校での生活を実際に体験することで、園児の就学への期待感を高める。
- ・期日：2月(2回に分けて実施)
- ・児童の活動：生活科「もうすぐ2年生」の学習を通じ、自身の入学前を振り返りながら、園児が学校生活を楽しみにできるような関わり方を考え、実践した。
- ・園児の活動：ランドセル体験、名前書き体験、学校探検などを通じて小学校への興味・関心を高める。活動後は、児童と共に活動を振り返り、思いを表現した。



(3) 「学校のことを新しい1年生に知らせよう」(掲示物作成)

- ・目的：児童が伝えたい学校生活の様子を写真と言葉でまとめ、園に掲示することで、園児および保護者の就学に対する意識の変容(不安の解消と期待感の醸成)を促す。
- ・期日：2月(各園へ寄贈)
- ・児童の活動：自身の経験から、新入生が安心して入学できるよう、紹介する内容や言葉を吟味し、写真にコメントを添えて掲示物を作成した。
- ・園児の活動：園での生活の中で掲示物を目にし、教諭・保育士や保護者と小学校について話題にしたり、入学後の生活を想像したりする。



3 交流の成果と課題

(1) 小学校

○成果：各園のアプローチカリキュラムを参考に、園が育成を目指す資質・能力を意識して活動を計画したことで、具体的なねらいに即した交流が実現した。その結果、児童が園児を優しくリードする姿が随所に見られた。

○課題：複数園と本校のスケジュール調整が難しく、予備日の設定ができなかったため、感染症流行時に中止せざるを得なかった。今後は予備日の確保や代替案の検討が必要である。

(2) 幼稚園・保育園

○成果：児童と園児が自由にコミュニケーションをとる時間を設けたことで、園児の緊張がほぐれ、安心して活動を楽しむことができた。特に、入学に不安を感じていた園児が、交流を通じて就学を楽しみに待つようになるなど、心理的な好影響が見られた。

○課題：小学校教員による園の活動参観や、園教諭・保育士による小学校の授業参観をさらに推進し、相互理解を深めることで、より一層の連携強化が図れる。

令和7年度 新座市幼保小連携推進事業報告

第9ブロック

新座市立池田小学校

栄保育園 元気キッズ新座池田園

1 活動名

- (1) 第1回幼保小交流会
- (2) 第2回幼保小交流会

2 活動内容

- (1) 幼保小交流会

目的

- ・ 小学校と幼稚園・保育園の交流を行うことで、教育機関相互の連携を深める。
- ・ 1年生は、小さな子どものお世話をする経験を通して、所属感や年長者としての自覚を養う。
- ・ 園児は、来年進学することへの期待を高め、不安を取り除き、スムーズな小学校への接続につなげる。

第1回：園児が児童や学校に慣れ親しむことをメインの目的とした。

第2回：園児が学校の様子や授業の雰囲気を知ることがメインの目的とした。



第1回 交流会



第2回 交流会

3 交流の成果と課題

○成果

- ・1年生の年上としての自覚が芽生えた。2年生の向けた目標
- ・成功体験と自己肯定感の向上
- ・実際の教室に入って活動したことで、生活の場としての具体的なイメージが持てた。
- ・園児たちに「安心感」と「期待感」をもたせることができた
- ・保護者の安心感や就学への前向きな関心を引き出すことができた。

○課題

- ・準備の時間が取れないので、結果的に教師主導の活動になってしまう。
- ・小学校側（教師、子供）の準備が多い。
- ・製作（風車）において、画鋸などの鋭利な物の使用や、立体裁断などの高度な技術が必要な場面があった。
- ・教室を見るだけでなく、その場所が「何をする場所か」を知ることにより理解が深まる。
- ・ペアの小学生との関わりが中心となり、他園の園児やより多くの小学生との交流までには至らなかった。

4 改善案

- ・園での安全基準（危険物の持ち込み・保管）に合わせ、画鋸の代わりに「割りピン」や「テープ止め」で代用できる活動を検討する。
- ・教室前で足を止め、小学生や教員から簡単な説明（「ここは実験をする理科室だよ」等）を添える時間を設ける。（一方で、ここ時間をかけると活動時間が少なくなってしまう。）
- ・自由遊びの時間や、グループ同士が挨拶を交わすようなプログラムを一部導入する。

5 その他

- ・アプローチプログラムとスタートプログラムを参照した架け橋プログラムの作成を検討。
- ・園児の散歩コースとして、学校を開放することで学校への親近感を高める。

<第10ブロック>

新座市立新堀小学校

こばとの森幼稚園 新堀保育園 光保育園

1 活動名

- (1) 第1回交流会 令和7年11月20日(火)
- (2) 第2回交流会 令和8年1月27日(火)

2 活動内容

- (1) 第1回交流会 (令和7年11月20日)

おもちゃフェスティバル

- ・生活科で取り組んで作ったおもちゃを使い、お店形式で一緒に遊んだ。
- ・1年生は店員として、園児たちへのふるまい方を考え、一つ上のお兄さんお姉さんとして優しく丁寧に接することができた。
- ・11種類のお店を開き、園児にスタンプカードを渡して、できるだけたくさん回れるように促した。



- (2) 第2回交流会 (令和8年1月27日)

学校紹介・1年生体験

- ・体育館に全員集合し、全体会を行った。(主に新堀小学校の紹介)
- ・各学級に分かれ、朝の支度や学習の体験を行った。(ランドセル、えんぴつ体験・授業のあいさつ・タブレットや学習用具の体験など)



3 交流会の成果と課題

新堀小学校

○成果

- ・上級生になる意識が芽生え、自立的な行動が見られるようになった。

- ・時期的に、2年生に向けてどう行動するかを指導できてよかった。
- ・自分たちが小学生として頑張っている姿を、卒園した幼稚園や保育園の先生方に見てもらえて、喜んでいる姿が見られた。
- ・生活科の学習での目的意識が明確になり、充実した活動を行うことができた。

○課題

- ・感染症が流行する時期なので、感染状況に注視して行う必要がある。

こばとの森幼稚園

○成果

- ・おもちゃ祭りでは、季節のものを使ったおもちゃで喜んで遊ぶ園児の姿が見られた。持ち帰ったおみやげも、園に戻ってから楽しく遊んでいた。
- ・1年生体験では、小学校への期待が膨らみ、入学に向けて意識が高まった。園に戻ってから、なんとなく子どもたちの表情が違っていた。
- ・体育館からランドセルを背負って、教室に入っていくのがよかった。

○課題

- ・幼稚園からの距離とクラス数の都合で、バス移動の時間がかかってしまい、時間の使い方が難しかった。2回目の交流会は、2クラスそろってから行えたのでよかった。できれば今後もスタートの時間を合わせられるとうれしい。

新堀保育園

○成果

- ・
- ・

○課題

- ・

光保育園

○成果

- ・園児にとって、園の生活ではできない経験ができてよかった。(小学校の教室に入ることや、ランドセルを背負うことなど)
- ・就学に向けて保育園で練習していることを、実際の教室で行うことができ、園児の小学校に対する意識が高まった。
- ・卒園児の様子を知ることができ、関わることでよかった。
- ・子ども同士の教え合いのため、園児が素直に聞き入れることができていた。

○課題

- ・可能であれば、もっと会ったり遊んだりして、園児と1年生のかかわりや仲を深める機会を作れるとよい。(本格的な準備などをせずに、気軽に遊ぶ機会など)

令和7年度 新座市幼保小連携推進事業報告

<第11ブロック>

新座市立東野小学校

わか のび 幼稚園 第一保育園 すぎ の こ 保育園 まなびぐら新座保育園

1 活動名

- (1) 1年生と一緒に遊ぼう
- (2) 1年生の体験をしよう (1年生の学年閉鎖により中止)

2 活動内容

- (1) 1年生と一緒に遊ぼう
 - ・交流日時：令和7年11月19日(水) 10:40～11:25
令和7年12月 1日(月) 10:40～11:25
令和7年12月17日(水) 10:40～11:25
 - ・交流場所：東野小学校 体育館(11月)、1年生教室(12月)
 - ・交流内容：①音楽に合わせて「じゃんけん握手」をする。
②1年生がつくったおもちゃと一緒に遊ぶ。
(どんぐりやまつぼっくりで作ったけん玉、迷路、的あてなど)



- (2) 1年生の体験をしよう (1年生の学年閉鎖により中止)
 - ・交流日時：令和8年1月22日(木) 10:40～11:25
令和8年1月23日(金) 10:25～11:10
 - ・交流場所：東野小学校 1年生教室
 - ・交流内容：①体験…プリントを使った運筆、色塗り。ランドセルを背負う。
②学校紹介…幼稚園生や保育園生が小学校のことで知りたいと思ったことを1年生が考えて、実物や写真を見せて紹介する。
→後日、学校紹介の動画を各幼稚園、保育園に送る。(2月中旬予定)

3 交流の成果と課題

(1) 小学校

○成果

- ・年長児が小学校に入学する前にどんな思いでいるのかを考える中で、去年の自分たちを思い出し、年長児へ思いを寄せることができた。
- ・年長児への接し方を考える中で、子供たちの上級生としての自覚を高めさせることができた。
- ・企画、準備、実施の流れを子供たちが意欲的に取り組むことができた。
- ・子供主体の活動を取り入れたので、先生が園児も含め子供の様子を見てまわることができ、幼稚園・保育園の先生と少し話をする時間も作ることができた。

○課題

- ・第1回、第2回ともに感染症の学級閉鎖や学年閉鎖と重なってしまい、日程の延期や、中止にならざるを得なかった。
- ・学校行事や年間指導計画、複数の園と一緒に交流したい（園同士のつながりも大事にしたい）ことを考えると、日程調整が難しいと感じた。

(2) 幼稚園・保育園

○成果

- ・1年生のお兄さん、お姉さんと遊べて、園児は嬉しそうだった。
- ・小学校がどんなところなのかわかったようで、1年生になるのを楽しみにする発言が増えた。
- ・小学生もたくさん話しかけてくれたので、安心できた子は自分で話しかけたりできたのでよかった。
- ・幼稚園のお友達と交流できたこともよかった。
- ・保護者の方にとっても、就学への意識につながったと感じた。
- ・園から学校まで歩くことで、通学路のイメージがもてた。

○課題

- ・感染症が流行しやすい時期の設定になってしまう点。
- ・1回のみでの交流になり、1回目に欠席者が多かったので交流会を経験できなかった子がいたので不安を感じる。
- ・クラスで遊べたのがよかったが、他の保育園や幼稚園との関わりが全くなかったのが残念だった。
- ・子供たちだけでなく、年長の先生と小学校の先生との交流をやりたい。
- ・交流会に、余裕があれば実施できるように予備日もあるとよいと思った。

令和7年度 新座市幼保小連携推進事業報告

<第12ブロック>

新座市立栄小学校

妙音沢もみじ保育園、竹の子保育園

1 活動名

保育園・小学校の交流会

2 活動内容

(1) 日時 令和7年11月6日(木) 9:40～11:00 (もみじ保育園)

令和8年 2月6日(金) 9:30～10:10 (竹の子保育園)

(2) 内容 ○ゲーム

人数あつめゲーム

○グループでの学校探検

クラスごとに校内を案内する。

○1年生体験

「席に座る」「ランドセルを背負う」「線をなぞる」を1年生に教えてもらいながら園児が体験する。



3 交流の成果と課題

(1) 小学校

○成果

- ・1年生の児童が、保育園児に小学校のことを教えたり、プリントを一緒にやったりすることで、自分が上級生になった気持ちになり、頼もしい姿が見られた。
- ・1年生なりに、優しく話しかけたり、「すごいね！」と褒めてあげたりするなど、下級生との関わり方を学ぶ良い機会になった。
- ・保育園の先生方に卒園した児童の様子を見てもらえたのが良かった。
- ・2学期にインフルエンザの流行があり、たけのこ保育園が交流会に来られなかったが、3学期に予定を組んでいたため、実施はできて良かった。

○課題

- ・より内容の充実した1年生体験ができる交流会が実施できるとよいと思った。例えば、簡単な授業を一緒に受けたり給食を一緒に食べてみたりすることが考えられる。(アレルギーの確認など安全に配慮して行う。)

(2) 保育園

妙音沢もみじ保育園

○成果

- ・小学校を知ることで、入学を心待ちにすることができた。
- ・小学校の雰囲気を知り、小学校に対しての不安感が軽減した。

○課題

- ・児童の楽しみにもなるため、タイムスケジュールを早めに教えてほしい。

たけのこ保育園

○成果

- ・学校探検や授業体験ができ、入学に期待感をもつことができた。

○課題

- ・特になし。

〈第13ブロック〉

新座市立石神小学校

アヤ保育園 まきば保育園 まこと保育園 光第二保育園

かりやなかよし保育園

1 活動名

「なかよし交流会」をしよう。

2 活動内容

(1) 始めの会

- 始めの言葉
- 校長先生のお話
- 小学校 校歌披露
- ペアの顔合わせ



(2) 体験学習①

- プリントで鉛筆書きの練習をする。



(3) 体験学習②

- ランドセルを背負って特別教室を見学する。



(4) 体験学習③

- 1年生が作った松ぼっくのけん玉で遊ぶ。
けん玉に絵を描く。



(5) 終わりの会

- 園長先生のお話
- 園児から歌のプレゼント
- 終わりの言葉

3 交流の成果と課題

(1) 小学校

○ 成果

- ・ 1年生は、面倒をみてもらうことが多いため、自分たちが小学校について教える体験をすることができ、有意義だった。
- ・ 生活科の学習で、準備の段階から保育園の園児の目線に立ち、入学前に伝えたいことや、声掛けの仕方を考えることで、当日も自信をもって、園児と交流することができていた。
- ・ けん玉体験では、遊びの中で楽しそうに交流できていた。
- ・ 来年度を想像して、1年生を迎える自覚をもたせることができた。
- ・ 小学校での子供たちの実態、成長の様子を見て頂くことができた。
- ・ 園児の歌の発表を聞くことができてよかった。

○ 課題

- ・ 今年度より2学級となり、教室数も少なくなり、移動に時間がかかり、活動の時間を十分に確保できないグループもあった。また、終わりの時間が少し遅くなってしまった。

(2) 保育園

○ 成果

- ・ 入学に向けての不安や緊張感を持っていた園児が、小学校に訪問することで期待へと変化したようだった。
- ・ 1年生が優しく声をかけてくれたり、遊んでくれたりしたので、安心した雰囲気に参加することができた。
- ・ 授業体験が有意義な時間で、子供たちも集中して取り組んでいた。
- ・ 校内探検では、実際にランドセルを背負って登校するイメージをもつことができていた。
- ・ 日常の園の生活の中でも、遊びの中でトラブルがあった時に、園児同士で話し合っ解決しようとする姿や、制作を自ら進んで頑張る姿など、小学生への期待が態度にも表れてきている。

○ 課題

- ・ 交流会数を増やしたり、もっと情報交換ができたりするとよい。
- ・ 初めての場所で、人数も多く緊張している子もいたので、事前にイメージして見通しがもてるようにしていきたい。
- ・ 移動で活動の内容が少なくなってしまうグループがあった。
- ・ 帰りの時間が遅くなってしまい、歩いて帰る園は大変だった。

令和7年度 新座市幼保小連携推進事業報告

<第14ブロック>

新座市立新開小学校

第一新座幼稚園 大和田しらかば幼稚園 北野保育園

1 活動名

(1) 幼保小交流会

2 活動内容

(1) 幼保小交流会

○日時 11月28日(金)(北野保育園・大和田しらかば幼稚園)

12月10日(水)(第一新座幼稚園)

○内容

・歌披露

1年生が音楽朝会でうたった歌を披露

・学校探検

1年生が各教室を紹介しながら探検

・タブレット体験

ロイロノートを使ったお絵かき体験

・メダル渡し

1年生が作ったメダルを渡す



3 交流の成果と課題

(1) 小学校

○成果

- ・一人一役やることで、自信をもつことができた。
- ・園児に教えるという経験を通し、上級生としての自覚が芽生えた。
- ・折り紙で折ったメダルの裏に学校行事の絵を書くことで、今までの振り返り来年度への期待を高められた。
- ・昨年の教えられる立場から、教える立場になったことで1年の成長を実感することにつながった。

○課題

- ・教科書の配当時間とは、異なっていたため単元への取り組みが難しかった。
- ・交流会の時間が短かった。

(2) 幼稚園・保育園

○成果

- ・初めて「学校」という場所に行く子供もいて、ドキドキしたようだが、楽しかったと話す園児が多くいた。
- ・メダルのプレゼントが嬉しかった。
- ・小学校への期待が高まった。
- ・小学校に向けて意欲が高まった。
- ・1年生が取り組んでいること（音楽朝会の歌や授業でのタブレット活用）、頑張っている姿を見ることができて良かった。
- ・小学生が積極的に関わろうとする姿があり嬉しく思った。
- ・卒園生に会うことで1年生を身近に感じ、小学校への親近感が増した。

○課題

- ・ブロックごとだけでなく、園から近い学校との交流もできるとよい。
- ・年に1回でなく、継続的に何かできるとよい。
- ・園児だけでなく、保護者が今の学校を知る機会が欲しい。(授業見学など)
- ・幼稚園と小学校の違いを伝え、どのような変化があるのかを園児に教えてほしい。(物の管理の仕方やお道具箱の使い方など)

4 今後、行っていきたい交流

- ・小グループを通じた遊びの交流
- ・年長保護者の小学校見学
- ・園児と児童の相互訪問
- ・教員間での意見交換会
- ・交流会の回数増加



令和7年度 新座市幼保小連携推進事業報告

<第15ブロック>

新座市立栗原小学校

明彩幼稚園 けやきの森保育園栗原園 けやきの森保育園栗原第二

はなにこマロン保育園

1 活動名

- (1) 園児の農園活動見学 (2) 幼保小交流会
(3) 第2回情報交換会 (4) 学年便りの共有

2 活動内容

(1) 園児の農園活動見学

- ・日時 令和7年9月上旬
→暑さのため中止

けやきの森保育園栗原園・第二の園児が、栗原小学校農園での1年生の活動を見学する予定だった。



(令和6年度に行った様子)

(2) 幼保小交流会

- ・日時 令和7年12月5日(金) 9時15分～10時15分
けやきの森保育園栗原園(12名)
けやきの森保育園栗原第二(9名)
はなにこマロン保育園(3名)
令和7年12月15日(月) 10時30分～11時30分
明彩幼稚園(27名)
- ・場所 栗原小学校
- ・内容 1年生と園児がペアになって、下記の交流を行った。

①教室での交流(◎は必ず行った活動内容)

◎ランドセル体験

- ・実際に1年生が使っているランドセルを園児が背負い、朝の支度などの体験をさせてあげた。

◎名前書き

- ・園児が用紙に自分の名前を書き、1年生はそれを補助した。

○1年生が考えた内容の交流

- ・お道具箱の紹介、読み聞かせ、折り紙、ぬり絵、クロムブックで制作物を見せるなど、ペアごとに1年生がリードして行った。

②校舎案内

◎食器体験

- ・給食食器セットを持ち、大きさや質感を体験した。

○図書室

- ・入学後、慣れ親しんでほしい場所の広さ、蔵書の多さを見て、園との違いを感じてもらった。

○1年生が考えた施設案内

- ・実際に1年生が使用している教室や紹介してあげたいものを自分たちで作成した計画書を基に時間を有効に使いながら案内した。



「ランドセル姿がかっこいいね」



「図書室には本がいっぱいあるよ」



「栗原小学校の校歌を聴いてね」



「持ち方じょうずだね」



「学校ではクロムブックも使うよ」



「こうやって書くんだよ」

(3) 第2回情報交換会

2月下旬～3月上旬に、小学校教員が幼稚園・保育園に伺い、情報交換と引き継ぎを行う。

(4) 学年便りの共有

毎月出している学年便りを交流している園に送り、掲示してもらうことで、園児の保護者が小学校でどんなことをしているか知ってもらう機会とする。

3 交流の成果と課題

○成果

- ・1年生の児童は、実際に自分たちが学習したことや経験をしたことを生かし、事前の準備や当日の交流などができ、園児を思いやる気持ちや上級生としての意識が高まった。
- ・園児は、1年生からいろいろなことを教えてもらったり、体験させてもらったりしたことで、小学校へ入学することへの安心感や期待につなげることができた。
- ・情報交換会をしたことで、異校種の職員の交流にもつながった。

○課題

- ・年間を通して、交流できる機会や時間が増えるとよい。
- ・小学校職員が、幼稚園・保育園を訪問し、園児の活動の様子を参観する機会があってもよいのではないかな。

令和7年度 新座市幼保小連携推進事業報告

新座市立陣屋小学校

白梅保育園 白梅第二保育園 キッドステイ新座保育園

1 活動名

(1) 幼保小交流会

2 活動内容

(1) 幼保小交流会

○日時 11月4日(火) 2校時～3校時

場所 陣屋小学校 体育館 各1年生教室 学校全体

○内容

3園の年長児童と陣屋小学校1年生が交流を行った。①始めの会 ②学校探検・教室での授業体験③終わりの会という流れで行った。小学校は2クラスなので、1年1組が学校探検しているときは1年2組は授業体験、1年1組が授業体験をしているときは1年2組は学校探検になるようにした。交代の時間は一度体育館に集合し、全体で遊ぶ時間をとった。

学校探検…年長児と1年生がペアになり、校内を回る。地図を見て、ポイントで、シールを貼った。

授業体験…1年生の席に、年長児が座って、教科書を見せてもらったり、ランドセルを背負ったり、簡単なプリントに取り組んだりした。

始めの会では、1年生が歓迎の言葉を述べ、終わりの会では、年長児が本日の感想を発表した。



3 交流の成果と課題

★小学校

○成果

- ・事前にリハーサルを行ったことでより意欲的になり、交流会を通して、来年度上級生になるという自覚が高まった。
- ・自分が、上級生にしてもらったことを想起し、どんな接し方をしたらよいか考え、年長児に優しく親切に接することができた。
- ・今回日程の都合もあり、1年生と園児が猛獣狩りで遊ぶ時間がとれ、どちらにも好評だった。

○課題

- ・昨年度は11月後半、今年度は11月前半と半月ほど時期を早めて実施したただどの時期で実施しても、予定を合わせるのは、難しかった。

★幼稚園・保育園

○成果

- ・模擬授業体験をしたこと、学校探検で校内をまわったことで、学ぶことへの期待が膨らんだ。
- ・昨年度は、3～4校時の実施だったが、昼食の時間までに帰ることが日想的に厳しいことから、2～3校時に変更した。その結果、どの園もゆとりをもって園に戻ることができた。
- ・授業体験と校内探検の間に休み時間があったことで、ゆとりをもって次の活動に移ることができた。休み時間に行った「猛獣狩り」も楽しんでいた。

○課題

- ・ちょうどインフルエンザの流行と重なってしまい、参加できない園児が多かったことが残念だった。
- ・授業体験は、1年1組と2組で若干内容が違う部分があったので、そろっているとよかった。

令和7年度 新座市幼保小連携推進事業報告

第17ブロック 新座市立新座小学校

第二新座幼稚園、新座保育園 山びこ保育園

1 活動名

- ① あきまつり 令和7年11月17日(月) 12月4日(木)
- ② 小学校体験 令和8年1月21日(水) 26日(月)
- ③ 園へ訪問会 令和8年2月9日(月) 予定
- ④ 保育園へ教員による施設等訪問 山びこ保育園 夏季休業中
新座保育園 2月26日実施予定

2 活動内容

- ① あきまつり 会場：新座小学校体育館
生活科の秋のおもちやづくりの単元において幼稚園児を秋祭りに招待する目的で活動をした。「マラカス」「けん玉」「めいろ」「まとあて」「たこやき」「飾り」「がちゃがちゃ」等のお店を出して交流した。



- ② 小学生の体験 会場：1年教室等

1年教室で椅子に座る・ランドセルの片づけ・健康観察・書き方・学校探検という小学校の体験を行った。1年生と園児がペアになり、1年生が教える形で実施した。



- ③ 園へ訪問会 2月9日 予定

3つの園に、1年生がグループに分かれて訪問をし、園児と一緒に遊んだり、園の中を紹介してもらったりして交流をする。

④ 保育園へ施設等訪問

保育園の施設や園児の普段の様子を訪問時に共有した。小学校では、施設や保育目標取組等を他の職員に紙面で知らせた。

3 交流の成果と課題

(1) 小学校

○成果

- ・ 同じ内容を別日で2回行うことで、児童が1回目の振り返りを生かして行うことができた。デメリットとしては、時数が限られているので、工夫していきたい。
- ・ 自分が学んだことを生かして、園児にやさしく声をかけながら教えることができた。
- ・ 3つの園の園児に教えることで、大変さや難しさを感じながらも、2年生になる気持ちをもつ良い機会となった。
- ・ 初めて、保育園の施設訪問をした。保育から教育の繋がりを知り、3学期の小学校体験の内容を吟味することができた。

○課題

- ・ 幼稚園の施設等訪問は、園児のいる時間と児童のいる時間が重なるため、なかなか時間を取ることができなかった。来年度また再考する。

(2) 幼稚園・保育園

○成果

- ・ ペアになって活動することで、少しずつ打ち解け、笑顔や会話が見られ、園児が活動しやすかった。
- ・ 小学校で2回の交流をしたので、1回目の楽しい経験から2回目を心待ちにしていた。
- ・ 就学への期待が高まり、不安の解消につながった。
- ・ 就学する園児の様子も小学校側の教員が確認し、次年度へつなげられるようになった。

○課題

- ・ 教室や図書室などで園児が自由に動き、見たいものを見られる時間があるよりよい。
- ・ 園児一人ひとり不安や理解に差があるため、個別に応じた支援や関わりが必要である。
- ・ 環境の変化に敏感な園児は、事前に昨年度の交流の写真を見せながら、話をして見通しをもたせるとよい。
- ・ 感染症の蔓延時期や行事との兼ね合いで日程の調整が難しい。



令和7年度新座市幼保小連携推進事業 交流実践事例集

令和8年3月発行

新座市教育委員会

〒352-8623

新座市野火止1-1-1

TEL：048-477-7142

FAX：048-482-0137

E-mail：kyo-shien@city.niiza.lg.jp